

# 令和3年度 東小学校の学力向上に向けての取組

岩国市立東小学校

5月27日（木）に全国学力・学習状況調査が行われました。その結果から見えた課題解決に向けて、東小学校では以下のような取組をしています。

## 1 全国学力・学習状況調査の結果

教科名	全国平均と比べた結果
国語	大きく上回っている
算数	同程度

## 2 結果から見える成果と課題

### (1) 国語科

文の中で漢字を適切に使うことや書くことが身につけてきている傾向がみられます。しかし、目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけたり、要約したりして書いたりすることに課題が見られます。

### (2) 算数科

速さに関する基礎的な知識・技能や、除法を式に表したり計算したりする力が身につけてきている傾向が見られます。しかし、図形の構成や公式、二次元の表の分類整理など、基礎的な知識・技能については課題が見られます。

## 3 課題解決への取組

### (1) 朝学習（パワーアップタイム）の充実

月・火・水・金曜日の8時10分から10分間をパワーアップタイムとして、基礎的・基本的な内容を定着させたり、活用力を身につけさせたりするための学習に取り組んでいます。特に、3～6年生では、ミライシードを活用し、児童の実態に応じた課題に取り組ませます。

### (2) 日常の授業実践の充実

友だちとかかわり合う活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるような授業づくりに取り組んでいます。その中で、自分の考えの理由や根拠を明確にして、相手にわかりやすく伝える力を身につけていけるよう心がけています。また、既習事項も丁寧に確認しながら授業を進めることで、基礎・基本の定着を図ります。

### (3) 学力向上に向けて年2回の検証・改善

5月に全国学力・学習状況調査を実施し、調査により明らかになった課題を解決するため、全教職員での研修を行っています。また、10月には山口県学力定着状況確認問題を実施し、結果を分析して授業改善に生かしていきます。

#### (4) 家庭学習の充実

年度当初に配付した「家庭学習の手引き」に沿って、家庭学習の充実を図っていきます。また、「家庭学習パワーアップ週間」を実施し、家庭と連携することでより確かな学力の定着をめざしていきます。その際、「家庭学習パワーアップ週間」の意義について児童に改めて説明し、学習習慣を身につけることの大切さを意識できる取組を実施していきます。

#### (5) 小中一貫教育の充実

9年間を見通した学びの推進ができるように東中学校区で様々なカリキュラムの作成し、実践・改善をしています。小中一体型施設の良さを生かして、学習内容について協議したり、研究を協働で行ったり、小学校の先生が中学校の授業に入ったり、中学校の先生が小学校の授業に入ったりしています。このような取組を通して、教員の授業力向上を図ります。

### 4 各学年の努力目標

学年	努力目標
1年	<ul style="list-style-type: none"><li>・パワーアップタイムや家庭学習を活用し、漢字や計算等の基礎的な力を定着させる。</li><li>・問題を読む（正しく読みとる）練習をする。</li></ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"><li>・パワーアップタイムや家庭学習などで、既習事項を繰り返し学習させ、確実に定着させる。</li><li>・算数科における用語を使ってノートにまとめるなど、言葉に慣れさせる。</li><li>・条件をつけて日記を書かせる。</li></ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の考えをもつ活動を取り入れるとともに、表現しやすい雰囲気を作って、思いを伝える力を伸ばす。</li><li>・パワーアップタイムや家庭学習などで、既習事項に繰り返し取り組みせ、基礎基本の定着を図る。</li></ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"><li>・題意を把握するために、問題文に線を引いたり、丸をつけたりして見える化し、条件を意識させる。</li><li>・全員で説明の仕方を共有し、書き方を理解させた上で自力解決をさせるようにする。また、家庭学習で粘り強く取り組むことが定着につながることを意識させる。</li></ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業やパワーアップタイムで、ミライシードなどを活用し、既習事項を定期的に復習する機会を作り定着を図る。</li><li>・文章量の多い問題に定期的に取り組みせ、慣れさせるとともに、条件や単位などに線を引いたり、印をつけたりして見える化する習慣をつける。</li></ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業の中で、キーワードを使った振り返りや条件付きの文を書くようにする。</li><li>・6年間の学習内容の定着を図るため、パワーアップタイムや家庭学習で様々な学年の問題に取り組みせる。</li></ul>

このように、日々の取組や授業実践を通して、本校児童の学力の課題解決に向けて取り組んでいます。